

総合知としてのハラールサイエンスの確立とハラール産業を通じた普適的商品・サービスの探究



国際関係学科

とみ ざわ ひさ お
富沢 寿勇

● 連絡先

TEL : 054-264-5321 FAX : 054-264-5321

キーワード 総合知, ハラールサイエンス, ハラール産業, イスラーム, ムスリム, 一般消費者, 普適的商品・サービス, ツーリズム, 認証制度



ムスリムは現代世界で巨大な消費者層を形成しつつあり、産業界にとって無視できない存在となっている。イスラーム市場を対象としたハラール産業は食品、医薬・化粧品、衣料品から輸送・貯蔵、金融・保険、ツーリズムなどのサービス分野に至る広範な領域にまたがる。また同産業は、商品規格や品質保証、安全性などの国際基準を満たした上でハラール性を付加価値として加えつつ、認証制度を推進して、ムスリム、非ムスリムを問わず、一般消費者のニーズを満たすような普遍性の高い商品・サービスの開発を目指す具体戦略を取るのが常道になっている。このような背景に鑑み、私は人文社会科学と自然科学にまたがる総合知としての広義のハラールサイエンスの確立を提唱しつつ、グローバルな消費社会におけるローカルな価値観や多様な宗教規範を満足させる、より普適的商品・サービスとは何かという課題に取り組んでいる。

国際関係学部



(図1) バイオセンサー研究の民谷栄一教授(大阪大)らと日本ハラールサイエンス学会を設立し、人文社会科学と自然科学の総合知としてのハラールサイエンスの確立を進めている。本書はその試みの成果である。



(図2) イスラーム圏を射程に入れてハラール食品開発を進める県内食品卸企業との共同研究の成果の一端として関係者に配布された「しずおかムスリムおもてなしガイドブック」。(富士農商事株式会社との共同研究による成果)

アピールポイント

グローバル展開を目指す企業のハラール対応や、国内のムスリムツーリズム対応などに関し、講演や相談などのご協力はできます。